

Amir Tsarfati 氏 中東時事スペシャルアップデート 2018年12月8日公開
北の盾作戦

皆さん、シャローム。アミール・ツアルファティです。今回は「北の盾作戦」に関してのスペシャル中東アップデートです。

イスラエル北部で、国境をまたぐヒズボラのテロトンネルに対する、イスラエルの作戦です。

これから、20～30分かけて、現在、分かっていることをまとめたいと思います。

それに至った経緯、現在起こっている事、何が危険にさらされているのか、私に見えているこの先に起こる事、そしてもちろん御言葉を見て、点と点を繋げていきます。

では、お祈りから始めましょう。

お父様。

あなたの御言葉に感謝します。

私たちの周りで目にしているどんな事にも、私たちは恐れる必要がないことに感謝します。

それはお父様、あなたが遠い昔から、まだ起こっていない事を告げられたのを私たちは知っていますから。

あなたに感謝します。私たちの目は開かれ、人間が心の中で計画するのを見ています。

もちろん、あなたは、それを、あなたの子どもたちに明らかにされます。

お父様。どうか私たちが現在起こっている事を理解して、点と点を繋げることが出来るよう助けてください。そして、私たちが、全てのことをあなたの御言葉を通して見る事が出来るように。

偉大なる王の都、エルサレムより、あなたの御名を祝福します。

イエスの御名によって。アーメン

アーメン！

皆さん、シャローム！エルサレムよりこんばんは。

では、「北の盾作戦」から始めましょう。これは、イスラエル北部のイスラエルとレバノン国境での、イスラエルの作戦に我々がつけた名前です。

さて、4日前、私たちは目覚めと共にある現実と直面します。基本的には、我々がテロトンネルを暴くために地面を掘り始めていた場所で、イスラエルが密かに始めていたことです。



ヒズボラのトンネルが発見された国境の位置（左）と、トンネル内部の様子（右）

我々はこのテロトンネルについて、少なくとも3～4年前から知っていました。

皆さん、覚えているでしょうか？私は何度もお伝えしていますが、ガザにいるハマスのペテン師たちとイスラム聖戦派は、他の異なるものを隠すための、ただのカモフラージュ以外、何ものでもありません。イランと彼らの代理は、イスラエル北部で何かをしようとしているのです。

皆さん、覚えていてください。預言者エレミヤが言っています。

14 「わざわざが、北からこの地の全住民の上に、降りかかる。…」

(エレミヤ1:14)

それからエゼキエルもまた、次の戦争は、北から来ると告げています。

聖書は、エゼキエル書38章で、それに関わる国の名前だけでなく、このようにも告げています。

16 あなたは、わたしの民イスラエルを攻めに上り、 終わりの日に、あなたは地をおおう雲のようになる。
(エゼキエル 38:16)

それから、こうあります。15 節。

15 あなたは、北の果てのあなたの国から…率いて来る。
(エゼキエル 38:15)

もちろん北の果てとはロシアですが、しかし明らかに、イスラエルに入って来るのは北からです。だからまさにそのために、イスラエルの目は北に向いていて、イスラエル南部にいるハマスや イスラム聖戦派に引っぱられて、今、あちらで、軍事作戦に持ち込まれるワケにはいかないのです。現在彼らは、私たちの存在を脅かすものではないことを、我々は理解しています。

我々は、必要であれば、彼らを2分で終わらせることが可能です。

私たちはシリアやイラン、ロシアが現在行^{おこな}っている事に、もっと自分たちの目を向けています。では、9月中旬にまでさかのぼりましょう。

イスラエルが、シリア国内にあるイランの標的を攻撃した事をきっかけに、シリア人が撃った対空ミサイルが、誤ってロシアの偵察機 (IL20) を撃墜した事故を覚えていますか？そのロシア偵察機は地中海に墜落して、全員死亡しました。あの瞬間、ウラジミール・プーチンは、決断しました。

「もう十分だ。もう、イラン人にシリア国内で地位確立をさせない。そのためにイスラエルが攻撃して来て、それによって、シリア国内の状況を不安定にしているのだから。」

その時点でイランは、シリア国内での活動を、ほぼ完全に停止しました。

そしてそれが、シリア国内でのイスラエルの活動の回数が、大幅に減った理由です。

事実、イスラエルがシリア、もしくはシリア国内のイラン標的を攻撃したのは、シリア軍がロシア機を撃墜した日以来、3回だけです。

皆さん、知っておいてください。

皆さんに知らされたのは、その3回の内、1回だけです。それは、11月30日に行われた、前回の攻撃です。ただその他の2回は、イスラエルが巧みに他の者の仕業のように見せかけました。

しかし、私たちは必要であれば活動していました。

ただ我々は、イランが彼らの作戦を変えていることに気付きました。

彼らは、精密誘導兵器ナビゲーション付ミサイルをシリアに密輸して、それからほるばるレバノンに送る代わりに、彼らは、直接レバノンに飛行し始めて、彼らはこういったロケットを、さらにイラクにも持ち込み始めました。

イスラエルは、こういった事態に注意深く目を向けていて、まさにそのために、あの「北の盾作戦」のタイミングが選ばれたのです。今のところ、有名な中東の専門家たちと、西欧界の諜報社会の専門家たちは、皆、ヒズボラが、11万~14万発のロケットを所持している、と皆さんに言うことが出来ます。14万発のロケット。

皆さん、これらは、ただの“さもないロケット” (追尾装置がない旧式ミサイル) です。

これらはスカッド・ロケット、Fajr ロケットで、ただ、たくさんの爆薬が詰まった鉄クズに過ぎません。これらは高精度ではありません。考え方としては、「下手な鉄砲も数撃てば当たる」的なシロモノで、出来る限り多く発射するのです。

イスラエルは、まさにこのために、アイアンドームや、アロー、そしてダビデ・スリングを開発したのです。

我々がすでにアメリカから得て持っているパトリオット・ロケットのバックアップ用に。これらのシステムは、どのロケットが居住地域に落下するかを探知することが出来、その時にだけ、迎撃で一発飛ばして、空中で破壊します。しかしそれらは、人の住んでいない空き地に落下するロケットは、一切破壊しません。また、我々の経験から、これらの“さもないロケット”は、一切イスラエルの存続に関わる脅威ではありません。

我々が、全てのスマートミサイル、GPS 誘導型ミサイルの輸送の破壊を決意していることに、ヒズボラが気づき、

イランが気づいた時、——そして我々は、それを^{おこな}行いました。

皆さんが耳にされた、この2年半~3年の間のシリアでの攻撃の全ては、ほとんどがスマート及び高精度ロケットに対するもので、それらが、ヒズボラに届けられる最中でした。

皆さん、理解しておいてください。何千発もの高精度ロケットを発射するというのは、流れを変えます。なぜかといえば、あちらでは、もし我々が1発か、5発でも見逃せば、それらは標的を命中するのです。これは、

我々には、あつてはならないことです。だから、まさにそのためにイスラエルは、シリアで何度も攻撃を^{おこな}うのです。皆さん、イスラエルが全ての高性能兵器を空から破壊していることに、ヒズボラが気づいた時、彼らは、「我々もハマスを見習って、地下にトンネルを掘ろう」

と考えました。

そこでイスラエルは、その成り行きを、注意深く見張っていました。

実際には我々は、彼らがそれをするのを黙認しました。なぜかといえば、我々は必要であれば、彼らに報復攻撃する理由が欲しかったためと、また、我々が黙認した別の理由は、いずれ我々が暴露し、破壊しようとしている、彼らの資金源を浪費させるためです。

さらに我々は、そのことについて私達は何も知らない、と彼らに思わせて、彼らにその造成に必死で集中させておいて、最終的に、我々がそれらを発見するだけでなく、公にそれらの破壊を開始するためです。1時間前の時点で、イスラエルは 新たにもう一つ、トンネルを暴きました。

レバノンからイスラエルに続くトンネルは、少なくともあと10ヶ所はある、と我々は見ています。レバノン国内には何十ヶ所というトンネルがあり、戦争に備えてそれぞれの場所をつなげています。

皆さん、理解しておいてください。

今の時点でイスラエルは、慎重に、このタイミングを選びました。

あの時点ではまだ、ヒズボラは、ほんの僅かしか“スマート兵器”を所有していないことに、我々は気づいたのです。おそらく、40~50発でしょう。ヒズボラの手の中にある14万発の中、スマートロケットは、わずか40~50発です。

そこでイスラエルは、これらのトンネル発見の機会を利用して、ヒズボラを暴き、仮面を剥いで、

また、アメリカとフランスを通してメッセージを送りました。

「あなた方が、高精度スマートロケットを入手する動きを止めなければ、我々は、レバノンを攻撃せざるを得ない。」

また我々は、レバノン人にも言いました。

「ヒズボラは、長年ずっとあなた方に、『軍隊は、レバノンを防衛するためであって、攻撃のためではない』と言いつけ、あなた方に、『ヒズボラが、イスラエルに奇襲をかけ、イスラエル北部のガリラヤを占拠しない限り、もう再び戦争は起こらない』という幻想を抱かせて来た。」

さて、私達は何をしたかという、我々は、彼らを現行犯で抑えました。

我々は、彼らに警告したのです。だからそのために首相は、作戦が始まる前夜、ブリュッセルに飛んで、そこでポンペオ長官と非常に内密な、また緊急の会談を持ったのです。

計画は、非常にシンプルです。我々は、一旦ヒズボラを暴露したら、次は我々がイニシアチブを取る。国際法によれば、こちらの領土に入って掘られたトンネルは全て、イスラエルが取れることになっています。これは「開戦事由」と呼ばれ、戦争を起こすのに十分な理由、という意味です。

国際法によれば、我々は、報復して攻撃する権利があります。

そしてイスラエルは現在、それを行う権利が保証されています。テロトンネルに対してだけではなく、トンネルは現在、我々が破壊しています。しかし我々は、その攻撃する権利を利用して、バイルートの空港周辺にある、兵器工場を攻撃します。ですので、現在、非常にシンプルです。

イスラエルには、これらのトンネルの発見で完璧なタイミングがあり、イスラエルは、レバノン政府に忠告し、また、ヒズボラの真意を全世界に暴露しました。私達のところには動画があつて、その中で、ヒズボラの間人がトンネルを歩いて来て、イスラエルが設置したカメラを覗き込んだ時、我々は催涙ガスの入った、小さな爆発物を起動させました。すると彼は、走って逃げて行きました。



トンネル内に侵入してきた、ヒズボラ側の男

なぜ、我々はこれをおこな行ったのか？ それは、このトンネルを彼らが現在掘っていて、活動中であることを証明するためです。

事実、我々が数時間前に発見したトンネルでさえ、数日前までのヒズボラの活動の残骸を発見しました。ですから、ヒズボラが多くの精鋭軍、アドワン軍を送り込もうとする秘密計画があることは、間違いありません。考えとしては、捕虜をとって拘留です。もしかすると、イスラエルの入植地を他の国々から孤立させることまでもするかも知れません。そしてガリラヤの一部を占領し、小さなヒズボラが、大きなイスラエル軍を相手に戦って、我々はガリラヤを占拠した、と世界に言いたいのでしょうか。

皆さん、理解しておいてください。アラブ人にとっては、絵が何よりも大事で、彼らは自国の半分を破壊しても気にしません。ヒズボラが、イスラエル北部の入植地の一つを占領し、そこにヒズボラの旗を立てている絵は、他の何にも勝る価値があるのです。

彼らは、自分たちの子どもの将来は、ほとんど考えていません。

彼らが考えているのは、どうやってイスラエルを痛めつけるか、です。

そして現在、ネタニヤフは非常に巧みに動いています。ヒズボラを暴露するだけでなく、おそらく、あの脅威を破壊するでしょう。

皆が、ヒズボラを恐れています。事実、現在起こっているのは、我々は、ヒズボラ側からは、もう戦争が来ないことの保証を得ました。現在彼らは、我々が彼らに目を向けていることを理解しています。我々は、彼らの計画していることをはっきりと知っていて、我々には報復する権利があります。我々は、報復を計画しています。ヒズボラは、すでに現在シリア国内でも軍隊を移動させていて、そして現在、イスラエル北部では、誰も戦争を望んでいないことを、皆が理解しています。もし、ヒズボラが継続して動くなら、イスラエルは、攻撃することをためらいもしません。なぜなら、我々は彼らに警告しましたし、そして我々には、それを行う権利がありますから。

ということで、以上が私のお伝えしたかった事です。

もし皆さんが今、まっすぐ北を見ているなら、皆さんに言います。もう、まっすぐにレバノンを見ないでください。あの脅威は、我々が対処しています。皆さんの頭を、少し北東に動かしてください。そこが、皆さんが目を向けて、攻撃が来るのを探す場所です。

最北端から、ロシア、イラン、トルコがはるばるやって来ます。

非常に興味深い事に、聖書は、攻撃が「暗雲」のように攻めて来る、と告げています。

ですから私は、これがトンネルかどうか、分かりません。

私が思うに、暗雲というならこれは、ロケットか何かの方が、ずっと妥当ではないでしょうか。

暗雲というのは、基本的には何か空からやって来るもので、多分、晴れた日に彼らが何かを送って来るのでしょうか。ドローンかも知れませんが、ロケットかも知れませんが、飛行機かも知れませんが。ただ、確かなのは、イスラエルはそれに対応する必要はない、ということ。主が、それに対応されます。神は、主がそれを行うと、すでに約束されています。そして勝利はすでに保証、約束されています。主が、その栄光をお受けになるためです。イスラエルを助けるのは、アメリカではありません。ヨーロッパでもありません。

現在のイスラエルとロシアの協力関係でさえ、当然、一時的なものです。ロシアは、いずれ我々に敵対しますから。

皆さん、現在の状況についてアップデートでした。

イスラエルに空から攻め込むヒズボラの計画は、この4年間、継続して阻止されています。

我々は、彼らに届けられる高精度兵器の移送を止めていますから。

そこで彼らは、プランBへと移り、トンネルから我々を攻撃しようとしたのですが、それも、4日前に阻止されました。

皆さん、ヒズボラは、戦争は望んでいません。事実、我々がこれらの全てを発見して以来、彼は、一言も発していません。通常、ハサン・ナスルッラーフは、言葉を出し惜しみしません。

彼は、話が大好き、彼は、喋るのが大好き、彼は、演説が大好きです。



ハサン・ナスルラーフ

しかし現在、彼がトンネルにつき込んだ40億ドルが水泡に帰したことを、彼は理解しているのです。イスラエルは現在、これらのトンネルに、ブービートラップを仕掛けています。イスラエルは現在、これらのトンネルの少なくとも我々の側を破壊しています。

イスラエルは現在、UNIFIL、国際連合レバノン暫定駐留軍に、レバノン側で、彼らも同じ事を行うように頼んでいます。

もし彼らがそれを行わないなら、我々が行って、自身で行わなければなりません。ヒズボラは、ショックを受けています。彼らは、何か恐ろしく間違っていたことを理解しています。我々は、この4年間ずっと彼らを見ていました。彼らが、トンネルを掘り始めるところから、彼らが、これらのトンネルから、瓦礫を移動させる様子、彼らが、そのエリアから12km離れた場所にその瓦礫を捨てるのを、我々は見ていました。我々は、彼ら在必死で動くのを見ていました。

ところで、突破口は数ヶ月前で、我々は、ある技術を開発したのです。それについては、これ以上お話しする事が出来ませんが。ともかく、我々は独自の技術を開発しました。世界中で誰も持っていないもので、その技術によって、40x40ヤードのエリアで、トンネルの場所を知ることが出来るようになりました。トンネルの幅はたった2mほどなので、これが非常に困難で、どこを掘り始めるかは、ある意味、賭けなのです。しかも、あちらのものすごく硬い岩を掘るのです。ガザは、砂地や柔らかい土ではありません。あそこは、岩の多い地域です。そしてイスラエルは、開発されたばかりの最先端技術のおかげで、トンネルの場所を正確に知ることが出来ました。

あとはただ、機材を使って穴をあけ、トンネルに到達し、——我々には、これらのトンネルの中を往来して走行するロボットがあるのですが、ヒズボラの間人達は逃げ出したので、我々のロボットが行き来して、トンネルの高さや幅、強度を見積もっています。

我々は、彼らがすでに換気システムを導入し、電気システムを内側まで導入しているのを見ました。

これらのトンネルは、まだ稼働出来ません。

言い換えれば、これらはまだ、ヒズボラの部隊が指令を受けて、活動するための準備はまだ出来ていません。しかし、これらは最終段階にありました。なぜなら、それらはすでに、地下で国境を越え、地表に向けて進んでいる途中でしたから。

ですから皆さん、いつも言うように、神が私達と共にいて下さいます。

そしていつも言うように、主は、我々を滅ぼすためにこの地に連れて来られたのではありません。

そしていつも言うように、それは、私達が賢いからでなく、神が本当に良い方で、

我々が、敵を現行犯で捕まえられるように、神がしてくださるからです。

皆さんにお伝えしておきますが、私は、首相と軍隊に感謝しています。

彼らは、無駄に軍事行為を行いません。事実、この機密活動、現在の限界ある活動を通して、我々は、非常に大きなことを達成しました。もし、我々がただ、爆撃を開始していたら、これほどの事は達成出来なかったでしょう。

それから、皆さんにお伝えしたいのは、今の時点で、イスラエルは、我々のステップを考慮しています。もし、ヒズボラが何もしないなら、我々は何も行いません。

しかしもし、ヒズボラが継続して、武器を彼の領土へ密輸するなら、そして、継続して、高精度兵器を入手しようとするなら、我々は何かをしなければなりません。

我々は、民間のイランジェットライナー747型貨物機が、テヘランからベイルートへ直行しているのを、目に見ています。その飛行機に何が積まれているのか、我々は、正確に把握しています。イスラエルは、ためらわず実行します。



イランの民間貨物輸送機

ほんの2時間ほど前に、ネタニヤフ首相は、ウラジミール・プーチンと話をしました。

彼は、ポンペオ長官とも話をし、ヨーロッパの指導者達とも話をしました。

我々は、レバノン在留のアメリカとフランスの大使を通して、レバノンの政府にメッセージを送りました。

「我々は、彼らの領土から向かって来るものに対しては全て、主権国家として、レバノンに責任を問う。イスラエルは、外交的視点と軍事的視点からも、実行に移す準備が出来ており、必要であれば、この度、我々が明らかにした、国境を越えるトンネルの報復として、ベイルートを攻撃し破壊する。」

ということで、これが、我々がずっと働きかけて来たこと、これが、我々が暴露したことです。

そしてこの4年の間に、我々は、それが前進し、エスカレートするのを目にしてきました。

事態は2017年の中頃、シリア国内でエスカレートするイランの動きに対して、我々が動き出す決意をし、我々の思う通りに活動し始める以前とは異なります。

事態は今年の11月中旬までとは異なります。我々は、今が実行する時だと決意し、我々はその時、その日を慎重に選ぶ必要がありました。

彼らは、すでに国境を超えましたから、それまでです。

彼らは、以前は一日1mずつ掘っていました。ですから、この40日間に彼らは 基本的に国境を超え、すでに、我々の領土にいます。

イスラエルの司令官の兵士達が、ヒズボラの間人が、彼らの足元で掘っている事や、その準備を整えている事を知りながら、その地上に立っている様子はかなり面白かったです。

ただ、その時が来たら、我々は世界に告げる決意をしました。

我々が爆破した事、我々は、彼らは何を行なっているか知っていること、我々は今、これらのテロトンネルを破壊していることを。これは、何週間とかかる活動です。数日や数時間ではありません。

世界は、それに気づいています。国連は、それに気づいています。レバノン政府も、それに気づいています。現在我々に残された仕事は、ただ、実行するのみ。正しく行うだけです。

以上が、大なり小なり、現在あちらで起こっている事です。

結論を言うと、今回起こった事から見て、私の目には、レバノンとの戦争はほとんど無いだろうと思います。仮に私が想像するなら、世界中の全ての目は、引き続き、ダマスカスに向いているべきです。あちらで起こっている事に、引き続き向けられるべきです。

この、ものすごい時代に生きているというのは、非常に興味深く、非常に感動的な事です。

これまた、ものすごいのが、何十億ドルもの費用を必要とする、気候変動に関するパリ協定で、気候は少しも変わる事なく、現在は、ただ、全てがマクロンの目の前で 爆発しているだけです。

フランス国民が言っているのです。

「すみませんが、マクロンさん。我々の負担で、あなたにこんな事はさせませんよ。」



ジレ・ジョーヌ暴動

今、パリは炎上していて、マクロンは、彼の政権まで失うかも知れません。ドナルド・トランプが正しかった事が、証明されたのはすごいです。それも、人々によってだけでなく、政府によっても。

今や、専門家達だけでなく、ヨーロッパの一般の人々まで理解しているのです。

ただ、この世の温度を、0.5度下げようと試みるためだけに、自分達がモルモットになって、自身の生活の多くを犠牲にするつもりはない、と。

これはナンセンス、でたらめです。

地球温暖化は、1700年代中頃から始まっています。現在のような、温室効果や、排気ガスが始まる、はるか以前です。これは真実ではありません。ロンドンのテムズ川は、産業改革が始まるはるか以前に凍らなくなりました。皆さん、こういった温暖化、寒冷化のサイクルは、この世の現実の一部です。これは、世界統一政府が世を支配し、監視体制を持ち込むためのトリックの一つです。

トランプ大統領は、あの、お金のかかる協定から撤退しました。

そして今は、フランスの人達が、「私達は、これに関わらない！」と世界中に告げているのです。

ものすごい“詩的正義”が、「パリ協定」と呼ばれ、なのにパリは、この協定のために炎上しているのです。

これは驚きで、皮肉なことだと思います。

それから、神は、いつものように、御座で笑っておられると思います。

もう一つ、皆さんにお知らせしたいのは、

ここ、エルサレムのユダヤ教“サンヘドリン”について、色々と言われています。彼らが、間もなく第三神殿の祭壇を開設するとか。

皆さん、言っておきます。一度しか言いませんよ。私はもう、この手のことに答えるのには、辟易していますから。“サンヘドリン”は、ありません。“サンヘドリン”だと自称している、おかしい人は、いっぱいいますよ？そして、イスラエルの全てのユダヤ教のラビ達全員が、彼らに同意していません。定評あるユダヤ教指導者は全員、彼らから距離を置いています。

彼らは、サンヘドリンと自称する権利のない人達で、ただ自認しているだけの人達です。

多くのメシアニックが、ラビと自称しているのと同じです。

これらの人たちは、自分たちの最大のファンはユダヤ教徒ではなく、実際はクリスチャンであることを理解しています。そして彼らが、あれこれ行い、あれこれ言っていて、クリスチャンたちはそれに大興奮しています。皆さん、どうか、騙されないようにしましょう。良いですね？

とにかく、騙されないように。こういった人達は、受け入れられていません。

それに、神殿が建つ時・・・ところで、神殿は建ちますよ。

そして、神殿が建つ時、広く民意の一致があって、それは、イスラエルの高官達によって、推されます。自分で自認するような、おかしい人の集団によってではありません。

ですから皆さんが、それを知っておくことは、非常に大切です。

私は、神殿が建つと信じています。私は、その時、私たち教会はここにいないと信じています。

私は、私たちは、それを見ないと信じています。私は、反キリストがそこに立ち入るのを、私たちは見ない、と信じています。

私は、反キリストがもたらす和平協定の一部に、それが含まれると信じています。

私は、それが起こると信じています。私は、それが起こらない、と言っているではありません。

私は、それに関して、たくさんメッセージをしています。

しかし、私は、このサンヘドリンが何かであるとは、信じていません。
もし私が、明日、自分は将校だと宣言したらどうしますか？
私は“自称将校”ですよ。私が、自分で宣言するのです。それは本当でしょうか？当然、イスラエルの軍支配層は、私を将校とは認識しませんし、私に、将校としての権威は一切与えませんよ。

「だから何だ？私は何でも好きなことが言えるのだ！」

それが、この人たちです。

彼らは、自称ラビの集団で、誰も彼らに同意しません。彼らには何の権威もなく、何の権力もありません。全く何もありません！これに関して、はっきり明確にしておこうと思いました。サンヘドリンたちのことは、何も拡散してはいけません。

私はこの数日の間に、それが起こると大興奮している人達の動画をいくつか見ましたが、

彼らは、メシアニックのラビ達をイスラエルから招いて その大きな意味について語っていました。これは、たわごとです。

この、安物のセンセーショナルリズムから、離れてください。

これによって、私達全員のイメージが悪くなるのです。

ほら、覚えていますか？皆、赤毛の雌牛について話していましたが、今は、誰もそれについて話しません。このように、彼らはいつも何かを空中に撒き散らして、人を興奮させ、ハイパーになっている時、人は彼らにフォローし、彼らと親しくなります。そして何も起こらなくても、彼らの中の誰一人としてその責任を負って、自分は間違っていた、と言いません。

ですからどうか、こういった事に関して、誰をフォローし、何を投稿し、何を行うか、重々注意してください。なぜなら、これらの事が間違いだと証明されると、未信者の世界は「すべてのクリスチャンがおかしい」と見るようになりますから。そして、聖書預言を愛する人全てが、おかしいとえます。ただ、こういったことのために。

ですから、皆さん、重々気をつけてください。

さて。皆さんに、アップデートしておきたいと思いました。これで、現在何が起きているのかが、理解出来たと思います。現在、ものすごい事が起っています。

ベニヤミン・ネタニヤフを引きずり降ろそうとする動きは、アメリカで、ドナルド・トランプを引きずり降ろそうとする、闇の国家の動きと、非常に酷似していると思います。これからどうなるか、私には分かりません。ただ、一つ、私に分かるのは、仮に、彼らの両方が引きずり降ろされたとしても、私は、驚きません。

なぜか？それは、アメリカは、エゼキエル戦争で、イスラエルを助けませんから。

イスラエルは、自衛することすら出来ません。しかし、神が、イスラエルを守られます。

また、通常は指導者が強いと、誰も我々に手を出しません、指導者が弱いと、彼らは我々に手を出して来ます。今の時点では、ネタニヤフは、強い指導者として、イスラエル人だけでなく、同様に、他の世界からも見られています。そしてもし彼が再び首相となることが許されなければ、もしくは、もし彼が再び首相にならず、他の誰かがなったとしても、彼と同じくらい、強く影響を与える力のある人は、誰もいないでしょう。そうすると、全てのネズミが穴から出て来ることを、許してしまいます。ですから、もし、彼がそこにいたとしても、私は驚きませんが、もし、彼がそこにいなかったとしても、私はもっと驚きません。なぜかという、私は、御言葉から知っていますから。

皆さん、以上です。

私たちは、指導者たちのために祈らなければなりません。

私たちは、主に私たちが出来る限り平和に暮らせるように、祈らなければなりません。

パウロ自身が、当時、書いたように。

私たちは、覚えておかなければなりません。

主が私たちを迎えに来られるまで、私たちは従事しなければなりません。

私たちは、福音を広めなければなりません。私たちは、御父の仕事に励まなければなりません。

私たちは、諦めて疲れてはててはなりません。私たちは、キリストの使節でいなければなりません。

そして私たちは、自分自身を備えなければなりません。なぜなら、私たちはここを去った後、次に私たちはこの世に戻って来るのです。ただここに住むためだけでなく、ここを治めるためです。

支配し、統治出来るようになるには、それなりの素質が必要です。だから現在は、神が私たちを整えておられるのだと、私は信じています。私たちは耐え抜き、私たちは強くあらねばなりません。そして、私たちは覚えておかなければなりません。現在、私達が直面しているものは全て、天で私たちに与えられる素晴らしいことと比べれば、たいした事ではありません。

9 「目が見たことのないもの、耳が聞いたことのないもの、そして、人の心に思い浮かんだことのないもの、神を愛する者のために、神の備えてくださったものは、みなそうである。」

(第一コリント 2:9)

来週、スロベニアに飛ぶのを楽しみにしています。スロベニアでは、来週末の土日、マルボルの教会でメッセージをします。その後、すぐにイスラエルに戻って来て、私の教会でメッセージします。それから、年末10日間の休みを、家族とともに過ごして、アメリカに飛びます。そこで、カルバリーチャペル・タスティンのカンファレンスに出席し、続いて、フィリピンで講演を行います。

来年も非常に楽しみです。今年も、素晴らしい一年でしたが、来年は、さらに素晴らしい一年になるでしょう。新しい場所、新しい目的地、新しい地平線が待っています。ですから、お祈りいただけると感謝です。知恵と油注ぎ、健康と保護と必要が満たされるように、私の家族と、私のチームのためにもお祈りください。私達を支えてくださっている皆さんに、感謝します。

ニュースレターに登録をご希望の方は、ウェブサイト Beholdisrael.org よりどうぞ。

それから、この年末、アメリカかカナダで、年末調整を行う皆さんは、ぜひ、非営利団体として 私たちをご検討いただければと思います。

来年に、たくさんのご計画をしていますから。

ありがとうございます。では、アロンの祝福で終わらしましょう。

ヴェイシエメレハー	アドナイ	イエヴァーレフハー
וְיִשְׁמְרֶךָ	יְהוָה	יְבָרְכֶךָ
..(主が)あなたを守られますように	主が	あなたを祝福し

24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール
וְיִהַנֶּךָ	אֱלֹהֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יָאֵר
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし

25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וְיָשֵׂם	אֱלֹהֶיךָ	פְּנֵי	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

シャローム。唯一、平和の君から来る平安、どうか、平和の主ご自身が、どんな場合にも、いつも、あなたがたに平和を与えてくださいますように。彼の名は、イエシュア、彼は世界とイスラエルの救いです。その彼の御名によって、お祈りします。アーメン

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

※ 連続して発音する場合は以下

イエヴァーレフハー	アドナイ	ヴェイシエメレハー				
ヤーエール	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴィーフネッカー		
イッサー	アドナイ	パーナーヴ	エーレーハー	ヴェヤーセーム	レハー	シャーローム

アーメン。

ありがとうございます。Beholdisrael を、インスタグラムでフォローしてください。

フェイスブックは Behold Israel、ユーチューブは、Behold Israel/ビホールドイスラエルを登録してください。ベルのマークをオンにして、お知らせを受け取ってください。

ツイッターも Behold Israel です。ところで、ツイッターで私は一日に数回、その時起こっている事を投稿しています。ツイッターもフォローしてください。Behold Israel と、Amir Tsarfati の2つあります。フェイス

ブックも同様です。インスタグラムは、BeholdIsrael だけです。
ありがとうございます。エルサレムより、God bless you! さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

【写真出典一覧】

ヒズボラのトンネルが発見された国境の位置:IDF Operation Northern Shield “The route of the tunnel Hezbollah dug from under a private building in Lebanon into Israeli territory” 07/12/2018

トンネル内部の様子: IDF Operation Northern Shield “Inside the Hezbollah tunnel that the IDF neutralized on 12/04/2018”07/12/2018

トンネル内に侵入してきた、ヒズボラ側の男: YouTube IDF “Hezbollah Terrorist Caught on Camera” 2018/12/04
ハサン・ナスルッラーフ: Wikipedia「ハサン・ナスルッラーフ」

イランの民間貨物輸送機: THE TIMES OF ISRAEL “Iran using civilian flights to smuggle arms to Hezbollah-report” 4 September,2018

ジレ・ジョーヌ暴動: YouTube Le Figaro «Gilets jaunes»: les images de la nuit à Paris 2018/12/02